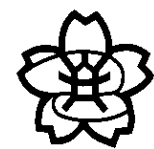


平成 29 年度



「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

平成 30 年 3 月 1 日

京都市立北白川小学校

校長 松本 和文

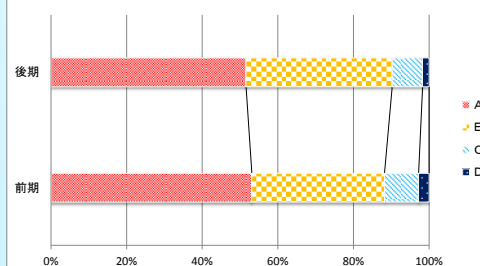
本号は、今年度後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」についての「表」を載せています。
生活面の設問は全7項目ありますが、特に、「こうないであつたひとにたいして、じぶんからすすんであいさつをしている」と「ともだちとけんかをしたときにおちついてかんがえ、かいけつすることができる」について、「グラフ」にしています。
表のAは「よくできている」、Bは「だいたいできている」、Cは「あまりできていない」、Dは「できていない」を示しています。

平成29年度 後期 学校評価アンケート <生活面> ※前期との比較

子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
こうないであつたひとにたいして、じぶんからすすんであいさつをしている。	後期	51.6%	38.7%	8.0%	1.7%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	後期	36.5%	60.6%	2.5%	0.4%	校内で会った人に対して、進んで挨拶ができるように働きかけている。	後期	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%
	前期	49.4%	44.4%	4.7%	1.6%		前期	37.9%	59.2%	2.5%	0.3%		前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
ともだちとけんかをしたときにおちついてかんがえ、かいけつすることができる。	後期	34.1%	43.7%	18.7%	3.5%	我が家では、我が子が友だちとけんかをしたときに落ち着いて考え、解決することができるよう話し合っている。	後期	23.6%	67.6%	8.8%	0.0%	友だちとけんかをしたときに落ち着いて考え解決することができるよう、道徳(どう解く)等の時間を大切にしている。	後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%		前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%		前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	後期	51.1%	29.9%	14.1%	4.9%	我が家では、子どもが話していることを、しっかり聴くようにしている。	後期	21.5%	71.1%	7.4%	0.0%	子どもたちと会話する機会を積極的に設け、話をしっかり聴くようにしている。	後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%
	前期	51.7%	29.0%	13.4%	5.9%		前期	25.1%	64.4%	10.5%	0.0%		前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
ちこくをしないようにとうこうしている。	後期	68.7%	20.1%	7.7%	3.5%	我が家では、我が子がちこくをしないように働きかけている。	後期	54.7%	38.9%	5.7%	0.7%	基本的な生活習慣が定着するように働きかけている。	後期	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
	前期	78.5%	15.6%	5.0%	0.9%		前期	60.1%	35.5%	4.2%	0.3%		前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
そうじかん(15ふんかん)、じぶんからすすんでそうじをしている。	後期	55.2%	35.5%	8.2%	1.1%	我が家では、我が子が、自分から進んで手伝いをするように、役割分担を与えている。	後期	13.4%	45.1%	35.9%	5.6%	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている。	後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%
	前期	57.8%	38.1%	3.4%	0.6%		前期	16.8%	35.6%	44.8%	2.9%		前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
じぶんのよいところがいえる。	後期	32.3%	38.2%	18.6%	10.9%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	後期	26.7%	62.0%	10.6%	0.7%	子どものよさを認め、ほめている。	後期	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%
	前期	34.6%	33.0%	22.7%	9.7%		前期	26.1%	61.5%	12.1%	0.3%		前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

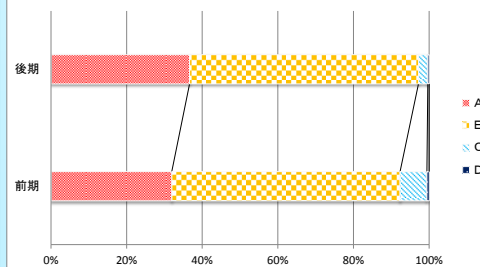
設問「こうないであつたひとにたいして、じぶんからすすんであいさつをしている」に対して、約90%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

じぶんからすすんであいさつしている

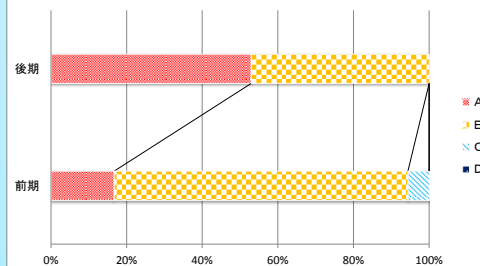


子どもたちを支える保護者・教職員は…

進んで挨拶するように声かけをしている



進んで挨拶ができるように働きかけている



表やグラフから、子どもたちが「校内で会った人に挨拶しよう」と意識していることが伝わってきます。

このことは、児童会本部を中心とした「あいさつ運動」の子どもたちの様子からも伝わってきました。元気な声だけではなく、会釈を交えながら他者意識をもって挨拶しようとすることもすてきであることを、引き続き、保護者・地域の皆様と共に「挨拶することの大切さ」を子どもたちに伝えていきたいと考えています。

前期の学校評価アンケートで、「人の得意、不得意に対して善し悪しを決めないように教えています。このような図(下図参照)で、『人にはへこんでいるところも、出っ張っているところもあるが、図のどちらも面積は一緒である』と教えています」という保護者からのご意見をご紹介しました。

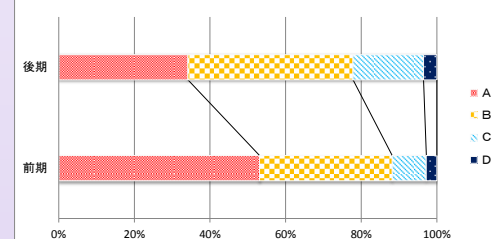
子どもたちが「解決しようとすればできる」「できるようになる」という意欲やイメージをもつためにも、大切な支援だと感じました。

道徳(どう解く)の授業で子どもたちが学び合う場を大切にするとともに、子どもたちの声をしっかりと聴くこと、子どもたちに図示したり、助言を書き示したりする支援を続けていきたいと考えています。



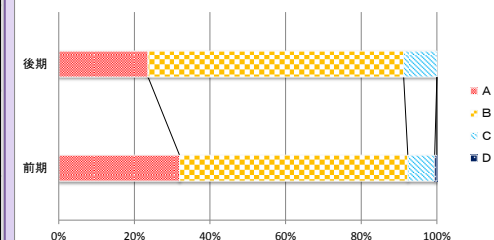
設問「ともだちとけんかをしたときにおちついてかんがえ、かいけつすることができる」に対して、約78%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

ともだちとけんかをしたときにおちついてかんがえ、かいけつすることができる

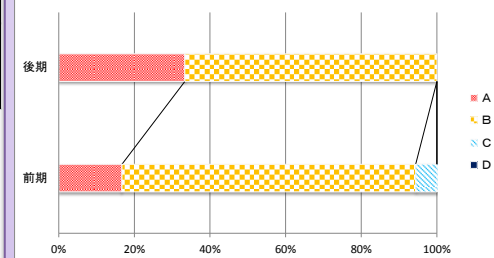


子どもたちを支える保護者・教職員は

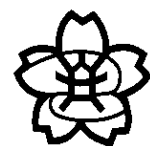
友だちとけんかをしたときに落ち着いて考え、解決することができるよう話し合っている。



友だちとけんかをしたときに落ち着いて考え解決することができるよう、道徳(どう解く)の時間を大切にしている



平成 29 年度



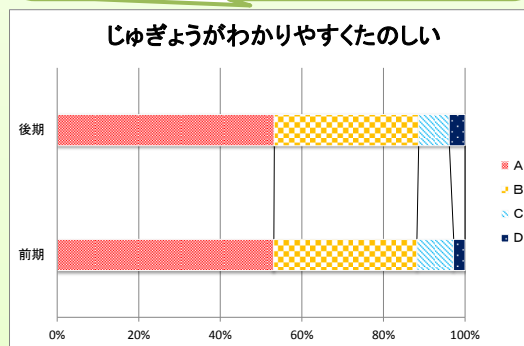
「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

平成 30 年 3 月 1 日
京都市立北白川小学校
校長 松本 和文

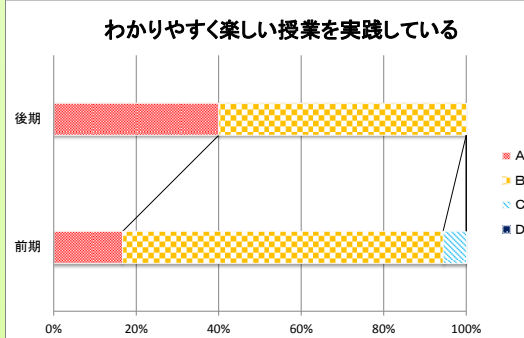
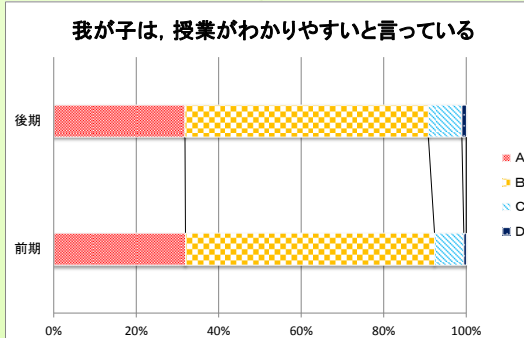
裏面は、「学習面」について前期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全 5 項目ありますが、特に、「じゅぎょうがわかりやすくてのしい」「じゅぎょうちゅう、すすんではっぴょうしている」「いえでじぶんからがくしゅうをしている」について、掲載しています。

表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。なお、**教職員の A 及び B は、すべての子どもたちに学力が定着するように、「B、わかる」「A、できる」子どもたちを増やそうと努力していることを示しています。**

設問「じゅぎょうがわかりやすくてのしい」に対して、約 87% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



子どもたちを支える保護者・教職員は…



平成29年度 後期 学校評価アンケート ＜学習面＞ ※前期との比較																	
子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすくてのしい。	後期	53.2%	35.4%	7.5%	3.9%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。	後期	31.8%	59.0%	8.1%	1.1%	わかりやすく楽しい授業を実践している。	後期	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	前期	53.1%	35.1%	9.0%	2.8%		前期	31.9%	60.3%	7.1%	0.6%		前期	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
じゅぎょうちゅう、すすんではっぴょうしている。	後期	37.1%	34.6%	21.3%	7.0%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	後期	30.1%	52.5%	16.7%	0.7%	意欲的に学習に取り組むことができるように工夫している。	後期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	前期	35.1%	35.1%	24.2%	5.6%		前期	28.0%	53.2%	17.8%	1.0%		前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
けいさんやかんじのちからがみにっている。	後期	51.9%	35.1%	10.5%	2.5%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についている。	後期	34.5%	52.8%	12.3%	0.4%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。	後期	26.7%	73.3%	0.0%	0.0%
	前期	50.8%	37.1%	10.9%	1.2%		前期	28.9%	57.1%	12.1%	1.9%		前期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
いえでじぶんからがくしゅうをしている。	後期	60.9%	26.8%	9.1%	3.2%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	後期	50.7%	41.5%	6.0%	1.8%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	後期	13.3%	86.7%	0.0%	0.0%
	前期	61.8%	24.5%	11.0%	2.8%		前期	54.0%	40.6%	4.8%	0.6%		前期	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%
ほんをよくよんでいる。	後期	58.3%	23.1%	14.4%	4.2%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。	後期	29.6%	38.0%	26.8%	5.6%	読書の習慣が定着するように働きかけている。	後期	26.7%	66.6%	6.7%	0.0%
	前期	57.5%	23.6%	14.6%	4.3%		前期	28.3%	34.0%	31.1%	6.7%		前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%

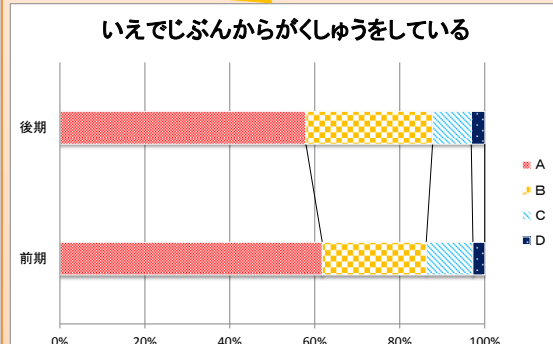
今年度、本校の研究の柱は、道徳（どう解く）でしたが、昨年度まで「研究の柱」であった算数科の授業を中心に、子どもたちの問題解決・思考の過程を大切にした授業に取り組むことで、『まず』、問題文を関係図に表すと…』『次に』、式に表すと…』『だから』、答えは…』などと発言する子どもたちの姿が見られました。日々の授業では、一問一答だけではなく、子どもたちがじっくりと考えたり、友だちと学び合ったりして問題を解決する場面も意図的に設けてきました。

現行の学習指導要領のキーワードである「言語活動の充実」は、国語科で培った力を他教科にどのように活かすのかといったことがポイントです。これは、次期学習指導要領でも普遍的な内容になると考えています。例えば、国語科の説明的文章で順序を表す「つなぎ言葉」を学んだのであれば、それを算数科や生活科、社会科をはじめ、他教科の学習でも活用していくことようにすることが大切です。子どもたちの学習内容や発達段階を踏まえながらですが、一つの教科だけではなく、私たち指導者が教科横断的な視点で計画を立てることで、「国語科と社会科の学習内容を関連付け、『情報を受け取ったり、発信したりするときに大切なことは何かについて、自分の考えを明確にして、文章に表現する』といった学習も子どもたちが経験することができるのではないか、また、そのような経験を重ねることで、『義務教育『15の出口』を意識した自学自習にも繋がるのではないかと考え、日々の授業を子どもたちと共につくっていきたいと思います。

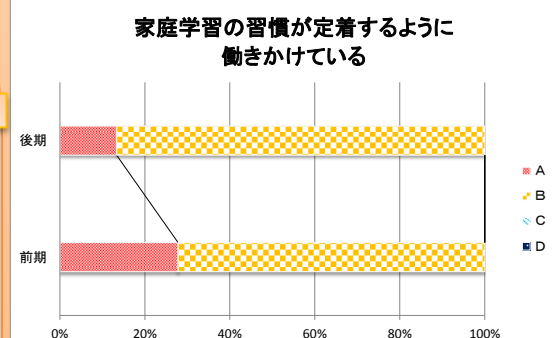
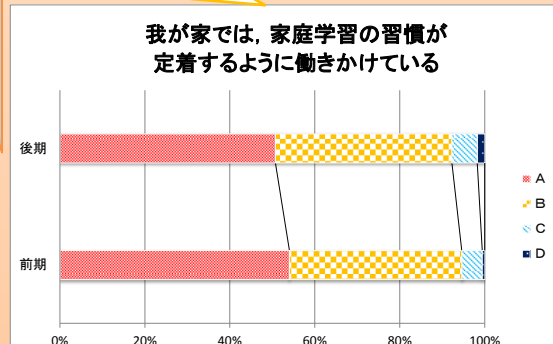
◇今回のアンケートでも、保護者の皆さんに数多くの記述をいただきました。ありがとうございました。一部になりますが、紹介させていただきます。

- ・先生には、生活面・勉強面とも自覚や成長を促すような声かけ・接し方をいただいていることが子どもの様子からよく分かります。
- ・自学ノートや日記、日々のデイリーカードに丁寧にコメントを書いてくださり、学習意欲が高まり、自宅でも進んで学習に取り組んでいます。朝会などで“話す力の場”を与えてくださることも発言力につながり、成長を感じています。
- ・設問「自分から進んで手伝いをするように、役割分担を与えている」について、進んで手伝いをするようにあえて役割分担は与えていません。その時に必要なことを判断できるようになってほしいと考えています。自分の責任を全うするという意味では、役割を与えた方が良いかもしれませんね。
- ・委員の仕事や他でも責任感が少しずつ出て来ているように思いますが、何をするにも時間がかかるので課題は多いです。できるかぎり本人の考えを聞いて、次にどうすれば良いか話し合うようにしています。
- ・生活に関しては、学校であった出来事など、漠然と聞くのではなく、子どもが話しやすい話題をしたり、最後までしっかり聞いたりするように努力しています。学習に関しては、以前は帰宅してから宿題をするまで時間がかかり、何度も声かけしていましたが、自分から取り組み、時間を決めて○分までに終わらせると目標を立ててやっています。復習をやって理解ができるよう努力しています。

設問「いえでじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 88% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



子どもたちを支える保護者・教職員は…



保護者の皆様からいただいた要望・感想についても教職員が共通理解を図るとともに、3月9日（金）の「学校運営協議会理事会」でも話題させていただきます。
お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後とも、よろしくお願い申し上げます。

